

文部科学広報

文部科学省 編集



文部科学省

MEXT

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

特集

新たな「新型コロナウイルス感染症対策 の基本的対処方針」の決定について

Monthly Line Up

令和3年度「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰 表彰式・事例発表会

「専修学校 #知る専」ロゴマーク決定！

霧島神宮の国宝指定



特集

17

霧島神宮の国宝指定
文化庁文化財第二課

11

「専修学校 #知る専」ロゴマーク決定！
文部科学省総合教育政策局生涯学習推進課専修学校教育振興室

6

令和3年度「障害者の生涯学習支援活動」に係る
文部科学大臣表彰 表彰式・事例発表会
文部科学省総合教育政策局男女共同参画共生社会学習・安全課

3

特集

新たな「新型コロナウイルス感染症対策の
基本的対処方針」の決定について

文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課

新たな「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」の決定について

令和三年十一月十九日、新型インフルエンザ等対策特別措置法第十八条第一項に規定する基本的対処方針として、政府から今後講ずべき対策を実施するに当たって準拠となるべき統一の指針が示されました。

文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課

はじめに

新型コロナウイルス感染症対策については、これまで、政府の新型コロナウイルス感染症対策本部において決定された「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」（以下「基本的対処方針」という。）等に基づき、学校を含め社会全体で取り組んでいたところ、国内の感染状況等を踏まえ、令和三年九月三十日をもって、国内の一部地域において実施されていた全ての新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく「新型インフルエンザ等緊急事態宣言」及び「まん延防止等重点措置」が終了しました。

その後、感染拡大に対する社会の耐性を高めながら、日常生活の制限を段階的に緩和し、感染症対策と日常生活を両立させることを基本とした政策展開の動きを経て、令和三年十一月十九日に、新たな基本的対処方針が示されました。そこで、当該方針における学校等の取扱いに関する記載について御紹介します。

学校等の取扱い

基本的対処方針では、学校等の取扱いについて

主に次のような内容が記載されています。

- ・幼稚園、小学校、中学校、高等学校等については、子供の健やかな学びの保障や心身への影響の観点から、「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」等を踏まえた対応を要請する。

- ・大学等については、感染防止と面接授業・遠隔授業の効果的実施等による学修機会の確保の両立に向けて適切に対応することを要請する。部活動、課外活動、学生寮における感染防止策、懇親会や飲み会等については、学生等への注意喚起の徹底を要請する。（ただし、ワクチン・検査パッケージ制度の適用等により、部活動や課外活動における感染リスクの高い活動につい

て可能とする。)特に、発熱等の症状がある学生等が登校や活動参加を控えるよう周知徹底を図る。

- ・大学、高等学校等における軽症状者に対する抗原簡易キット等の活用(部活動、各種全国大会前での健康チェック等における活用を含む。)
- ・や、中学校、小学校、幼稚園等の教職員や速やかな帰宅が困難であるなどの事情のある児童生徒(小学校四年生以上)への抗原簡易キットの活用を奨励する。

- ・教職員や受験生へのワクチン接種が進むよう、大学拠点接種を実施する大学に対し、地域の教育委員会や学校法人が大学拠点接種会場での接種を希望する場合の積極的な協力を依頼するとともに、地方公共団体に対し、大規模接種会場の運営に当たり、教育委員会や私学担当部局がワクチン担当部局と連携し、希望する教職員や受験生へのワクチン接種が進むよう取組を行うなどの配慮を依頼する。大学入試、高校入試等については、実施者において、感染防止策や追検査等による受験機会の確保に万全を期した上で、予定どおり実施する。

- ・都道府県は、学校設置者に対し、保健管理等の感染症対策について指導するとともに、地域の感染状況や学校関係者の感染者情報について速やかに情報共有を行うものとする。

このように、学校においては、引き続き感染症対策を徹底しつつ、学校教育活動の継続を図ることとなっております。

続いて、基本的対処方針に記載されていた「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」と「ワクチン・検査パッケージ制度」とともに、文部科学省が実施する、学校等における感染症対策への支援について御紹介いたします。

学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中においても、持続的に児童生徒等の教育を受ける権利を保障していくため、学校における感染及びその拡大のリスクを可能な限り低減した上で、学校運営を継続していく必要があります。

そのため、学校の衛生管理に関する具体的な事項について、学校の参考となるよう文部科学省においてマニュアルを作成し、適時改訂等を行うところとします。

直近では、令和三年十一月二十二日に最新の知見に基づき改訂(令和三年十二月十日に一部修正)しております。学校関係者の皆様におかれては、当該マニュアルも参考としていただき、地域の感染状況等にに応じて適切な感染症対策に取り組んでいただきたいと思います。

ワクチン・検査パッケージ制度

政府の新型コロナウイルス感染症対策本部において、令和三年十一月十九日にワクチン・検査パッケージの活用により行動制限を緩和する制度を施行するに当たり必要となる基本的な事項が要綱として定められました。これは感染症対策と日常生活の回復の両立に向けて、将来の緊急事態宣言やまん延防止等重点措置等の下においても、感染リスクを低減させることにより、飲食やイベント、人の移動等の各分野における行動制限の緩和を可能とするためのものです。

当該要綱においても、「学校等」の活動については、引き続き、「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」等を踏まえた対応を行い、ワクチン・検査パッケージ制度は適用しないこととなっております。(ただし、大学等の部活動・課外活動における感染リスクの高い活動へのワクチン・検査パッケージ制度の適用等については、令和三年十一月二十二日付の事務連絡「緊急事態措置区域及び重点措置区域での大学等の部活動・課外活動における感染リスクの高い活動の制限又は自粛の緩和について」においてお示ししています。)

学校等における 感染症対策への支援

感染症の影響が長引く中、子供たちの不安などにも寄り添いつつ、学校の感染症対策と子供たちの学びの保障の両立に取り組むため、教職員の皆様が子供たちの教育に注力できるよう継続的な支援を行っていくことが重要だと考えています。

このため、文部科学省ではこれまでに、令和二年度第三号補正予算において、教室等の消毒作業の外注等にも活用できる感染症対策等支援事業などを行ってきたところ、このたび、令和三年度補正予算において、消毒液やCO2モニター等の保健衛生用品の購入、消毒業務の委託など、地域の実情に応じて学校等が実施する感染症対策を支援する経費を計上しています。

各学校において、そのニーズを踏まえた対策がとられるよう、学校設置者に対して丁寧な本事業の説明等を行ってまいりたいと考えています。

おわりに

新型コロナウイルス感染症については、今なお警戒が必要な状況にあると考えています。

文部科学省としては、引き続き、学校や学校の設置者が地域の感染状況に応じた対策を講じつつ、学校教育活動を継続できるように、情報発信な

どの必要な取組を行ってまいります。

令和3年度「障害者の生涯学習支援活動」に係る 文部科学大臣表彰 表彰式・事例発表会

文部科学省総合教育政策局男女共同参画共生社会学習・安全課

令和3年12月7日(火)、表彰式の開催・配信、事例発表会の収録を行いました。

「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰について

文部科学省では、平成26年の「障害者の権利に関する条約」の批准や、平成28年の「障害者差別解消法」の施行等を踏まえ、障害のある方々が生涯にわたり自らの可能性を追求するとともに、地域の一員として豊かな人生を送ることができるよう、多様な学習活動の充実に向けた取組を進めています。

本表彰は、この取組の一環として平成29年度に創設したもので、学習やスポーツ、文化芸術、情報保障など、障害者の生涯を通じた多様な学習を支える個人又は団体について、活動内容が他の模範と認められるものに対し、その功績をたたえ、文部科学大臣が表彰するものです。5年目を迎える

今年度は、次の58の個人及び団体が表彰され、表彰件数は合計323件となりました。(敬称略)

【北海道】

・大村 博

・苫小牧市障がい者パソコンボランティア友の会

【青森県】

・小山内 敬子

【岩手県】

・社会福祉法人光林会「るんびにい美術館」

・特定非営利活動法人アートで明るく

生ざるかわさき

【秋田県】

・潟上天王つくし苑

【山形県】

・尾花沢ジュニアアスリートクラブ

【茨城県】

・キャッチ・ボイス

・たいそう教室

【千葉県】

・NPO法人スマイルクラブ

・一般社団法人A O A a r t

【東京都】

・練馬区聴覚障害者協会

・認定特定非営利活動法人トラッソス

・渋谷区知的障害者教室(えびす・G A Y A)

・葛飾区ポッチャ協会

・同窓会旭出あおば会

・日本ハンドサッカー協会

・特定非営利活動法人日本視覚障害者柔道連盟

・特定非営利活動法人日本ブラインドマラソン協会

・齋藤 啓子(武蔵野美術大学)

・福島 治(東京工芸大学)

・東京ふうせんバレーボール振興委員会

【神奈川県】

・アンサンブル麻生OBORG会

【富山県】

- ・声のライブラリー友の会
- ・富山市手をつなぐ育成会「みんなの青年の会」

【石川県】

- ・手話サークル「積木の会」

【福井県】

- ・「みんなで舞台上に立とう」を広げる会

- ・わらいSHOKUDO

【岐阜県】

- ・一般社団法人みたけスポーツ・文化倶楽部

【静岡県】

- ・特定非営利活動法人 藤枝光文庫

【愛知県】

- ・朗読ボランティア声のたより

- ・豊田市中央図書館 音訳・編集ボランティア

- ・ちくさ日曜学校

【京都府】

- ・トヨタカラー京都株式会社

【大阪府】

- ・大阪体育大学

- ・わくわくアダプトテッド・スポーツクラブ

【兵庫県】

- ・朝来市和田山生涯学習センター

【奈良県】

- ・社会福祉法人わたぼうしの会「たんぼぼの家」

- ・奈良県点訳グループ 青垣会

【和歌山県】

- ・社会福祉法人 一麦会

【岡山県】

- ・ゆうあいネットPCVOL

【広島県】

- ・朗読録音グループ「声の友」

- ・H B G 重度・重複障害児スポ・レク活動教室

- 「はなまるキッズ」

【山口県】

- ・山口県点訳音訳ボランティア連絡会

【徳島県】

- ・さくら学級

- ・布川 利彦

【愛媛県】

- ・伊予地区精神保健ボランティアグループ

- しおさい

- ・音訳ボランティア もみの木

- ・愛媛大学教育学部附属特別支援学校同窓会

- （虹の会）

【福岡県】

- ・キャンバス

- ・遠賀手話の会

- ・福岡大学

【熊本県】

- ・九州ルーテル学院大学 金曜教室

【大分県】

- ・社会福祉法人 太陽の家

【宮崎県】

- ・やまびこ

【仙台区】

- ・本人・若年認知症のつとめ「翼」

【さいたま市】

- ・音訳グループ木曜会

【浜松市】

- ・ぺんぎん村水泳教室

【大阪市】

- ・一般社団法人 大阪市視覚障害者福祉協会

以上58件（うち個人5件、団体53件）

表彰式

今年度も、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からオンライン開催とし、文部科学省3階第一講堂より表彰式の様子を配信しました。表彰式には、受賞者を代表し、社会福祉法人太陽の家庭理事長の山下達夫様に御出席いただきました。なお、他の受賞者や受賞団体関係者、都道府県等の関係者を含め、約200名の皆様にオンライン視聴していただきました。

池田佳隆文部科学副大臣の祝辞では、「今年度は、東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催された。障害の有無にかかわらず、活躍する選手の姿やそれを支える人々の姿から、誰もが尊重し合い、自分の可能性が発揮できる『共生社会』について、国民の多くが改めて考える機会にもなった。文部科学省としても、誰もが学びたいときに、いつでも学ぶことができる『生涯学習社会』、共に学び、支え合って生きる『共生社会』の実現を目指し、これからも障害のある方の『学ぶ環境』の整備を推進していきたい。」との言葉が述べられました。

続いて、受賞者を代表して山下様からは「本日



表彰状授与の様子

は栄えある文部科学大臣表彰を賜り、誠にありがとうございます。私は大分県別府市にある社会福祉法人太陽の家の理事長を務めている。当法人の創設者で整形外科医だった中村裕は1960年代英国のグットマン博士の下でスポーツを取り入れたりハビリテーションを学んだ。その後、身体障害者体育大会を大分県で初めて開催し、1964年東京パラリンピックの日本選手団長を務め、日本のパラリンピックの父と言われている。パラスポーツや障害のある人を理解するために大切なことは、学校教育を含めた生涯を通じた学びである。知らないことから、差別や偏見、無理解が生まれ



受賞者を代表して挨拶を述べる山下様



祝辞を述べる池田文部科学副大臣

知的障害のある人の学ぶ場、生涯学習を通して「教育を受ける権利」と「個人の発達」を保

①朝来市和田山生涯学習センター（兵庫県推薦）

今年度は全58の個人及び団体の受賞者のうち4団体から事例発表をしていただきました。以下、各団体の活動概要を紹介します。

今年度も、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、収録した動画を後日配信することとしています。

事例発表会は、主に支援団体や自治体関係者向けに、他の団体等の取組を知ること、自らの取組のより一層の充実を図るとともに、これまで障害者の生涯学習支援活動の取組が十分ではない自治体の参考とさせていただくために実施するものです。

事例発表会

る。例えば、インクルーシブ教育やパラスポーツの体験は大きな役割を果たしている。これからはロボットやAI、5G等の科学技術を通じて、障害のある人や難病の人、高齢者に役立つ医療や介護技術が発展していくだろう。それらと連携し、さらなる共生社会の実現に向けて思いを新たに、微力ではあるが邁進していく。」との挨拶が述べられました。



美術学「オリジナルのバッグを作ろう」

障した「人権の保障」を基本に、地域での学ぶ場として『カレッジ』と銘打って講座を開設しています。また、地域の人と一緒に学ぶことができるよう、講師やボランティアを地域の人にお願ひし、日常生活に必要なノウハウを楽しく学んでいます。

年5回の講座では、「健康学」「家庭学」「運動学」「経済学」「防犯学」など、様々なジャンルを取り上げており、特に詐欺や危険薬物等の犯罪から身を守る手立てやお金の使い方、金融機関の利用方法など、生活に直結した内容をひと工夫して実施しています。



通常教案の集合写真

②ちくさ日曜学校(愛知県・文部科学省推薦)

名古屋大学の学生が主体となり、名古屋市の青年学級事業の補助を受けながら、49年間にわたり地域の障害のある方々の学びの機会をつくっています。主に精神発達遅滞や自閉症などの障害のある方々やその保護者と一緒に、季節をテーマとした工作や実験、レクリエーションなどの活動を行っています。活動は毎月第2、第4日曜に行っており、これまでの合計回数は1100回を超えました。

活動には代々受け継がれてきた理念が3つあり



一人一人に寄り添った指導

ります。一つ目は「学級生も学生も対等である」、二つ目は「競争がなくお互いに学び合える場所である」、そして三つ目は「誰にとっても居心地のよい場所である」です。活動の主体は大学生というところで、数年でメンバーは入れ替わりますが、これらの理念をしっかりと引き継ぎ、障害のある方の学びを支えています。

③ぺんぎん村水泳教室(浜松市推薦)

3歳から60歳代までの幅広い年齢層の方が参加しており、どんな障害があっても、楽しく水泳を学ぶことができる場、社会との繋がりの場として29年間親しまれています。開設している

4つのコースのうち、選手コースからはパラリンピックのメダリストでもある鈴木孝幸選手をはじめ、多くの競泳選手を輩出しています。

障害があるという理由で、スイミングクラブに受け入れてもらえなかったり、やりたくても諦めたりした障害児・者やその保護者からの指導希望があり、そのニーズに応えるために、障害者水泳教室「ぺんぎん村水泳教室」を開設しました。浜松市内3か所の市民プールで活動し、水泳の技術を教えるだけではなく、社会のルールなども身に付けられるよう活動しています。

また、水泳指導だけでなくイルカとのふれあい体験ツアーをはじめ、様々なイベントを開催し、健常者・障害者・大人・子供の区別なく、様々な体験を通して楽しく学べる機会を提供しています。

④アンサンブル麻生OBOG会（神奈川県推薦）

特別支援学校で共に学んだ仲間が、学校卒業後も集まり、学生時代に初めて手にしたヴァイオリンやフルートの練習を続け、レッスンの成果を地域のコンサートなどで発表しています。特別支援学校の先生やプロの演奏家がボランティアで指導を続けてくださり、演奏者も聴衆も笑みがこぼれる「心温まるコンサート活動」を続けています。

音を出すだけでも大変でしたが、初めて奏でたヴァイオリンやフルートの音色に感動し、楽器を扱う作法やコンサートの裏方作業等から多くのことを学びました。卒業する頃には自分の

楽器を持ち、演奏を続けたいと願うようになりました。そこで、保護者を中心にOBOG会を立ち上げ、周囲の支援を頂きながら12年間活動を続けています。



地域のコンサートに出演

事例発表会の様子は後日YouTube 文部科学省チャンネルで公開予定です。是非御覧ください。また、今年度の受賞者の取組をまとめた事例集を文部科学省のWEBページに掲載しています。こちらも是非御覧ください。



https://www.mext.go.jp/content/20211207-mxt_kyousei01-000019394.pdf

「専修学校 #知る専」ロゴマーク決定！

文部科学省総合教育政策局生涯学習推進課専修学校教育振興室

令和3年3月にスタートした、専修学校の魅力を伝えるための広報プロジェクト「専修学校 #知る専」について、本プロジェクトで使用するロゴマークが決定しました。

「専修学校 #知る専」とは？

文部科学省では、地域の中核的人材や専門職業人の養成機関として重要な役割を果たしている専修学校の魅力を、中高生や教職員、保護者など多くの方々に知っていただくために、令和3年3月に広報プロジェクト「専修学校 #知る専」をスタートしました。

本プロジェクトでは、特設ポータルサイトやYouTubeチャンネル、Twitterやメールマガジンといった様々な媒体による広報を実施し、それら結び付けることで情報発信を強化しています。

最大の特徴は、発信される情報の多くが専門学校・高等専修学校やその生徒から投稿されるものであるという点です。例えば、特設ポータルサイトには在校生や卒業生から見た専修学校の魅力、特色ある教育内容や手法といった内容に関する動

画や記事が数多く掲載されています。開設から9か月間（令和3年11月末時点）で、99件の動画、92件の記事が投稿されています。

また、ポータルサイトについては、今年度新たな機能を実装しました。専修学校の生徒や教職員の方々がInstagramでハッシュタグ「#知る専」をつけて投稿すると、ポータルサイト上にその投稿が連動して掲載される仕組みです。今後さらなる広報機能の強化に向けて随時サイト等の機能の見直しを図り、情報発信の強化に努めてまいります。

「#知る専」ロゴマークコンテストを実施！

本プロジェクトについてより多くの方々に知っ

ていただくため、特に専修学校の生徒や中高生に認知していただくために、本プロジェクトのロゴマークを公募し、決定することとしました。全国の専門学校生や高等専修学校生及び高校生等を対象とし、令和3年7月12日から9月3日までの期間に募集を行ったところ、合計で930点の応募を頂きました。そして、審査の結果、文部科学大臣賞（最優秀賞）1点、優秀賞9点を選出しました。



投稿動画・記事の内容

趣旨

専修学校の取組内容や在学生・卒業生へのインタビュー動画、仕事紹介記事等を #知る専ポータルサイト、知る専YouTubeチャンネルに掲載。
当省からの発信を強化し、それらの周知、普及を図り、専修学校等における活用を促進。

在学生から見た専修学校の魅力	コロナ禍での教育上の工夫	卒業生から見た仕事の面白さや専修学校の魅力
<p>◆ 在学生インタビュー等で専修学校の魅力を紹介</p> 	<p>◆ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を踏まえ実施した教育の工夫の紹介</p> 	<p>◆ 卒業生インタビューで仕事の面白さや専修学校での学びがどう仕事に活かされているか、専修学校の魅力、進路選択する中高生へのメッセージ等を紹介</p> 
卒業制作等の紹介	特色ある教育内容・手法、運営体制	文部科学省委託事業の成果
<p>◆ 卒業制作までの過程や卒業制作等の発表会の様子を紹介</p> 	<p>◆ 自治体とのPBLなど他校であまり行われていないような特色ある取組の紹介</p> 	<p>◆ 専修学校関係の委託事業の取組内容や成果について紹介</p> 

・ 専修学校 #知る専 (文部科学省 H P)
<https://shirusen.mext.go.jp/>



・ YouTube動画チャンネル「知る専チャンネル」
<https://www.youtube.com/channel/UCzqZYCFzxM0zrfAHToeNVXA/videos>



「#知る専」ロゴマークコンテストの概要

○参加資格

〈専門学校 の部〉

専門学校 (専修学校専門課程) の在学生 (留学生を含む)

〈高等学校・高等専修学校の部〉

高等学校 (専修学校高等課程) 及び
高等学校等 (高等学校、中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部) の在学生 (留学生を含む)

○募集期間

令和3年7月12日～9月3日

○応募作品数

930点

(専門学校の部) : 802点

(高等学校・高等専修学校の部) : 128点

○表彰数

・ 文部科学大臣賞 (最優秀賞) : 1点

・ 優秀賞 : 9点

(うち専門学校の部) : 6点

(高等学校・高等専修学校の部) : 3点



表彰状授与の様

表彰式を開催!

令和3年11月17日、文部科学省において表彰式を行いました。当日は受賞者10名のうち9名が出席し、末松文部科学大臣より表彰状が授与されました。

末松大臣から「皆さんはそれぞれの作品を作る際にどのようなことを心掛けましたか」と質問すると、文部科学大臣賞（最優秀賞）に選ばれた宗像杏さんは、「まずはポータルサイトのことをよ



表彰状授与後、末松大臣と受賞者による懇談を実施

く知ることが大事だと思い、『#知る専』のサイトをよく見ていく中で、色やイメージを膨らませました」と答えてくれました。

表彰式の後に行われた懇談では、末松大臣からそれぞれの作品のポイントや制作期間などについて被表彰者の一人一人に質問し、受賞者の皆さんはそれぞれロゴに込めた思いなどを説明してくれました。

また、末松大臣は職業教育の重要性についてお話しし、専修学校等での学びを生かして頑張ってくださいと、受賞者の皆さんを激励しました。

末松文部科学大臣と文部科学大臣賞（最優秀賞）受賞者 宗像 杏さん
(写真撮影の際のみマスクを外しております)

※新型コロナウイルス感染症の感染予防に十分配慮して実施しております。

受賞作品

今回のロゴマークコンテストの受賞作品を御紹介します。文部科学大臣賞受賞作品は、本プロジェクトのロゴマークとして広く使用してまいります。

文部科学大臣賞

◆仙台デザイン専門学校・グラフィックデザイン
学科（宮城県） 宗像 杏 さん

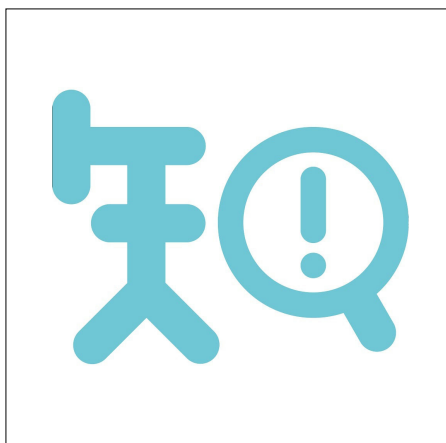


（作品の説明）

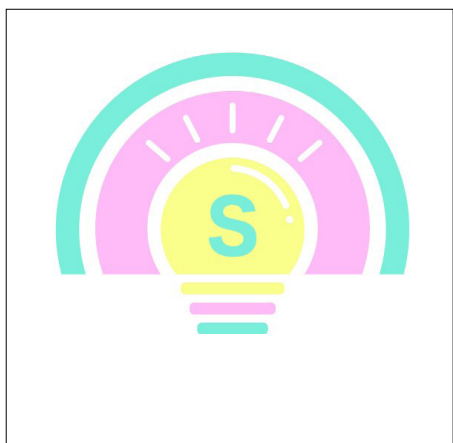
「知」の文字をデザイン化。「ロ」の部分
電球にし、学生の顔とすることで、「知る専」
で学校情報が得られることを表現。
全体的に丸く、柔らかい印象付けをした。

専門学校の部 優秀賞（五十音順）

◆穴吹ビジネス専門学校・マンガ・イラスト学科
（広島県） 上田 爽 さん



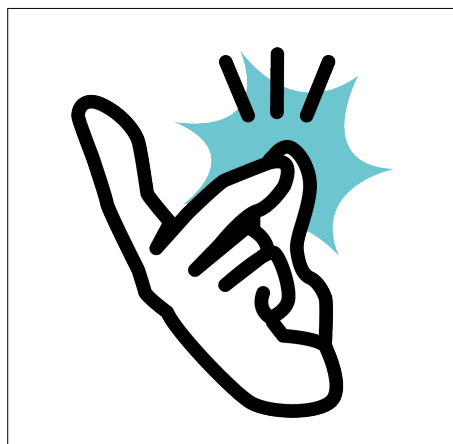
◆仙台デザイン専門学校・グラフィックデザイン
学科（宮城県） 角濱 瑚遥 さん



◆新潟デザイン専門学校・グラフィックデザイン
科（新潟県） 日向野 凜香 さん



◆穴吹デザイン専門学校・CG・ゲーム学科
（広島県） 藤本 麗乃 さん





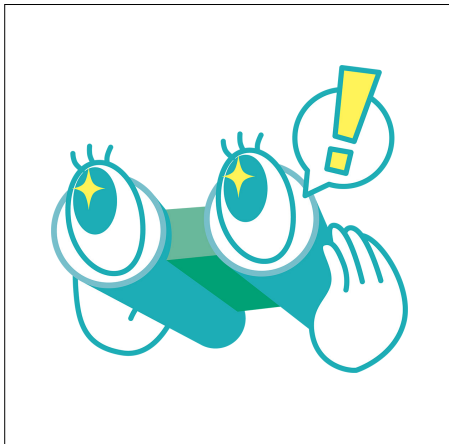
◆大阪情報ITクリエイター専門学校・メディア情報学科（大阪府） 村上 青空 さん



◆穴吹デザインカレッジ・グラフィックデザイン学科（香川県） 向上 愛海 さん



◆芸術工芸高等専修学校・デザイン科（東京都） 栗原 真輝 さん



◆川崎市立川崎総合科学高等学校・デザイン科（神奈川県） 狩谷 郁穂 さん

高等学校・高等専修学校の部
優秀賞（五十音順）



◆札幌市立札幌開成中等教育学校・コスモサイエンス科（北海道） 西川 由紗 さん

「#知る専」の今後について

「専修学校 #知る専」では、今後も専修学校の魅力が多くの方に伝わるよう広報を強化してまいります。その際、専修学校やその生徒、教職員の方々等に御参加いただきながら、専修学校の「いま」がわかり、中高生にとっては御自身の「未来」の可能性が広がるような情報を発信していきたいと考えております。ぜひ特設HPやYouTubeチャンネル等を御覧ください！

【専修学校 #知る専ポータルサイト】

専修学校に関する様々な情報を掲載しています。「#知る専」に関する情報はまずこのサイトをチェック!

<https://shirusen.mext.go.jp>



【YouTube チャンネル「#知る専チャンネル」】

ポータルサイト「専修学校 #知る専」で紹介している「学校ムービー」「仕事ムービー」はこちらのチャンネルにまとめています。

<https://www.youtube.com/channel/UCzqZYCFzxM0zrFAHToeNVXA>



【#知る専 Twitter】

主に専修学校を卒業した後のキャリアに関する情報や、企画等のお知らせを発信しております。ポータルサイトの更新情報もリアルタイムではっしんします。是非フォローをお願いします!

https://twitter.com/senshu_shirusen



【#知る専 メールマガジン】

主に専修学校や中学校・高等学校の教職員の皆様を対象に、有識者によるリレーコラムや各種イベント情報、特設ポータルサイトに掲載した新着情報、専修学校宛に発出した主要な通知・事務連絡をはじめとする行政情報など専修学校教育に関する情報の発信をしています。ぜひ御登録ください!



霧島神宮の国宝指定

令和3年11月19日(金)に開催された文化審議会文化財分科会の文部科学大臣への答申を受け、霧島神宮本殿・幣殿・拜殿が国宝に指定されることとなりました。今回の答申では、旧三井銀行小樽支店(北海道小樽市)など、10件の建造物も新規に重要文化財に指定される予定です。

文化庁文化財第二課

一、国宝に指定されるまで

文化財保護法は、国が指定する文化財のうち、建造物と美術工芸品を有形文化財と分類しています。

有形文化財の指定には、国宝と重要文化財の二段階があり、「重要文化財のうち極めて優秀で、かつ、文化史的意義の特に深いもの」を国宝に指定する仕組みとなっています。

霧島神宮本殿・幣殿・拜殿は、登廊下、勅使殿とともに、平成元年に重要文化財に指定されました。昭和後期に実施された、近世に建立された社寺建築の全国的な悉皆調査の結果、鹿児島県を代表する神社建築として評価されたものです。

霧島神宮では、今回、本殿をはじめとした幣殿、

拜殿が一体的な社殿として国宝に指定されますが、登廊下、勅使殿は、重要文化財として残ることとなります。

今回の答申により、官報告示を経て、重要文化財(建造物)は、2,540件、5,281棟、うち国宝の建造物は、229件、292棟となる予定です。

鹿児島県内では、これまで美術工芸品である、太刀「銘 国宗」(照国神社所蔵)が国宝として1件だけ所在していましたが、建造物の国宝としては、これが初めての指定となります。

国宝は、京都府や奈良県をはじめ、近畿圏に数多く所在していますが、一方で、1道12県には、いまだ国宝の建造物がありませんでした。今回、鹿児島県で初めて国宝の建造物が誕生することについて、地元では大々的に報道されるなど、好評をもって迎えていただいているように思います。

なお、各都道府県の国指定文化財の状況など

は、文化庁のホームページを御覧ください。

https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/shokai/chihoh_shitei_todofuken.html

二、霧島神宮の由緒

霧島神宮は鹿児島県霧島市の霧島山の中腹に鎮座しています。

天照大神の神勅を受け、高千穂峯に天降ったとされる瓊瓊杵尊を主祭神に祀る、いわゆる「天孫降臨」の建国神話にまつわる古社です。

『延喜式』には、「日向国諸県郡霧島神社」と記され、欽明天皇の代には山頂近くに社殿が造営されたと伝わります。社殿は延暦7年(788)の噴火で焼失し、天暦年間(947~957)頃に、



写真① 霧島神宮 全景（南から）

天台僧性空しょうくうによって場所をやや下った位置に移して再興され、別当寺華林寺けりんじもつくられて霧島六所権現社ろくしごんげんしゃと称したとされます。この社殿と堂舎も文暦元年（1234）の噴火で焼失し、降ってこの地域を支配した島津氏によって文明16年（1484）に、現在地に社殿と別当寺が再興されました。

以降、代々の島津氏の崇敬を受けるところとなりましたが、文明再興の社殿と堂舎も宝永2年（1705）に火災で焼失し、薩摩藩主島津吉貴よしあきによって正徳5年（1715）に復興されたのが現在の社殿です。

三、霧島神宮の魅力—社殿の配置

霧島神宮で、第一に印象的なものとして、その立地と、社殿の配置からなる空間構成の妙があります。

社地は高千穂峰の噴火口「御鉢」おぼちを含む南西斜面の広大な敷地を占めています。社殿は高千穂峰山頂に向かって配置され、傾斜地を階段状に削り取った境内地に、勅使殿から登廊下を介して段差をつけながら、拝殿、幣殿、本殿へと至る高みに昇ります。

すなわち、勅使殿から本殿を見上げれば、社殿

の屋根が前後に重なる荘嚴の景観をなし、そのまま背後にある高千穂峰を仰ぎ見ることとなります（写真①）。この、7メートルにおよぶ敷地の高低差を生かし、神のまします山頂への遙拝ようはいを、空間的に体感することのできる社殿の配置は、霧島神宮最大の魅力といえるでしょう。

この高低差の表現は、建物内部でも顕著にあらわれます。

特に拝殿から本殿に向かっては、急勾配の階段で段差をつけ、本殿の向拝こうはいを身舎から位置、高さとも距離をとって向拝を独立した形象として扱あつかい、天井高を変えて手扶たばきみ、海老虹梁えびこうりょうなどで繋ぐなど、躍動感にあふれた構成を持ちます。

正に国宝社殿にふさわしい、見事な表現といえるでしょう。

四、霧島神宮の魅力—豊かな装飾

もうひとつの魅力が、社殿をまとう豊かな建築装飾です。

まず、本殿の規模は大きく、内陣周囲や向拝を密度の高い彫刻や彩色で埋め尽くします。幣殿、拝殿も同様で、いずれの建物も要所を丸彫彫刻や絵画で装飾し、極彩色、漆塗り、朱塗りで仕上げの豪華な仕様を持っています。我が国では、近世において建築の装飾技術が発達しますが、霧島神宮の建築装飾は、その集大成の一つとして評価することができます。

わけてもみどころは、本殿向拝の龍の彫刻が巻き付いた龍柱です（写真②）。空間的にも社殿の要の位置にある龍柱は、左右で阿吽の形をとり、大振りで、豪壮かつ屈指の流麗さを誇ります。龍柱は、琉球や台湾、中国など東アジアにおいて分布し、我が国では、薩摩藩によって造営された社殿を中心に伝わりますが、霧島神宮の龍柱は、最古かつ最良の遺構となっています。

このように、霧島神宮は、神の高みへと近接すべく、高低差を利用した巧みな社殿の配置をみせ、龍柱をはじめとした建築装飾は、東アジア圏の文化の広がりを感じさせます。南九州にあって、我が国を代表する神社建築の一つとして、建築史上、高く評価することができるでしょう。



写真② 霧島神宮 本殿龍柱

五、鹿児島神宮

霧島神宮と同じように、本殿向拝に龍の彫刻が巻き付く龍柱を持つ（写真③）、鹿児島神宮本殿及び拝殿と勅使殿も、今回あらたに重要文化財に指定される予定です。

鹿児島神宮は、霧島神宮と同じく鹿児島県の霧島市に所在し、鹿児島湾に流れこむ天降川を望む丘陵上に立地しています。

社伝によると和銅元年（708）の創始とされ、延喜式には鹿児島神社として記載されています。平安時代には八幡神が勧請され、八幡正宮等と称



写真③ 鹿児島神宮 本殿龍柱

し、大きな勢力を誇りました。

現在の社殿はやはり薩摩藩主の島津重年の寄進により、宝暦6年（1756）に造替されたものです。勅使殿から南北軸に沿って北に拝殿、本殿が並びます。各建物とも豊かな装飾をもち、特に本殿は規模が極めて大きく、全体を彫刻や絵画で装飾し、極彩色、漆塗りなどで仕上げるなど、神社本殿として優れた価値を有しています。

装飾や彩色が豊かで、龍柱などの特色が似た、同じ地域にある2つの神社が、国宝、重要文化財に指定されることとなりました。今回の指定を機に、改めてこの地域の建築文化が注目され、興味をもって訪れる方が増えることを願ってやみません。

文部科学広報



文部科学省

MEXT

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

文部科学広報 令和3年12月号 No.265

(発行・著作)

文部科学省大臣官房総務課広報室

〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2

TEL : 03-5253-4111 (代表)

URL : <https://www.mext.go.jp/>

E-mail : mextjnal@mext.go.jp